令和２年度 社会福祉法人郡山市社会福祉協議会 事業報告

（令和２年４月１日～令和３年３月 31 日）

『みんなで支え合い　一人ひとりが輝けるまち　こおりやま』

の実現をめざして（『第４次地域福祉活動計画』基本理念）

本会では、平成 30 年度から『みんなで支え合い　一人ひとりが輝けるまち　郡山』を基本理念とする『第４次地域福祉活動計画』に基づき、各種の地域福祉推進事業に取り組みました。本計画は郡山市が策定した『第３期郡山市地域福祉計画』に呼応した４か年を期間とした民間の実践的な行動計画であり、令和２年度は計画年度の３年目として、特に以下の事業について重点的に実施いたしました。

第一に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い大幅な減収となった世帯に対する「生活福祉資金（特例貸付）」の実施について、本会の役職員が一丸となり貸付相談の対応にあたりました。社会経済活動に対する制限が長期化するなか、雇用状態が不安定な非正規労働者やパートタイム労働者等を中心に生活に困窮する世帯が急増し、令和３年３月末において延べ 3,693 世帯に対して生活資金の貸付を行いました。さらには、新型コロナウイルス感染症への対応策として、「新しい生活様式」を実践しながら、安心・安全に地域福祉活動が展開できるよう『地域福祉活動再開に向けたガイドライン』を作成し、福祉委員等に配布を行いました。

第二に、生活支援体制整備事業における「協議体の設置」及び「生活支援コーディネーターの配置」に向け、平成 29 年度から『郡山市第１層生活支援コーディネーター事業』の業務を、平成 30 年度からは『郡山市第２層生活支援コーディネーター事業』の業務を郡山市から受託しました。令和２年度から生活支援コーディネーターを６名増員し、総勢 13 名で活動を進めています。この事業をとおして、地域の支え合い・助け合い活動のための社会資源の発掘や創出を図りながら地域福祉活動の充実・強化に努めるとともに、生活支援コーディネーターを中心に、郡山市内の地区社協・支部社協の 38 地区を区域とした『第２層協議体』の設置に取り組み、令和２年度末までに 25 地区の設置が完了しました。

第三に、日常生活におけるちょっとした困りごとを住民同士で支え合う有償ボランティア活動を推進するため、『住民参加型在宅福祉サービス事業』“たすけあい活動”を全市的に展開し、ゴミ出しや掃除、話し相手などで延べ 2，005 件の利用があり、助っ人登録会員 46 名が活動を行いました。

また、令和３年２月 13 日に発生した福島県沖地震において、同月 15 日に本会に災害ボランティアセンターを設置し、被災された 53 世帯に対し、延べ 31 名のボランティアが活動にあたり、倒れた家具の原状復帰や整理、部屋の片付け、地震で使用できなくなった家具等の搬出作業などの生活復旧支援を行いました。

なお、具体的な事業は、以下のとおり実施しました。

《１　組織・財政及び活動基盤の強化》

（１）理事会・評議員会

①　理事会

○　令和２年６月 10 日付決議　新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議

（議決事項）

・令和元年度事業報告について

・令和元年度会計決算報告について

　監査報告

・令和２年度資金収支補正予算について

・たすけあい一時資金原資の欠損処理について

・評議員選任候補者の推薦について

・評議員選任・解任委員会の招集について

・評議員会の招集について

（報告事項）

・令和元年度資金収支補正予算の専決について

・施設長の任免について

○　令和２年 11 月 30 日付決議　新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議

（議決事項）

・職員給与規程の一部を改正する規程について

・評議員会の招集について

（報告事項）

・令和２年度中間事業報告について

・令和２年度歳末たすけあい運動配分事業について

○　令和３年３月 19 日付決議　新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議

（議決事項）

・就業規則の一部を改正する規則について

・嘱託職員等の雇用に関する規程の一部を改正する規程について

・令和３年度事業計画について

・令和３年度資金収支当初予算について

・評議員会の招集について

（報告事項）

・会長及び常勤副会長の職務の執行状況について

○　令和３年３月 29 日付決議　新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議

（議決事項）

・副会長の選定について

② 評議員会

○ 令和２年６月 25 日付決議　新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議

（議決事項）

・令和元年度事業報告について

・令和元年度会計決算報告について

監査報告

・令和２年度資金収支補正予算について

・たすけあい一時資金原資の欠損処理について

・役員（理事）の選任について

（報告事項）

・令和元年度資金収支補正予算の専決について

○ 令和２年 12 月 11 日付決議　新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議

（報告事項）

・令和２年度中間事業報告について

・令和２年度歳末たすけあい運動配分事業について

○ 令和３年３月 24 日付決議　新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議

（議決事項）

・令和３年度事業計画について

・令和３年度会計資金収支当初予算について

・役員（理事）の選任について

（２）監事会

○ 令和２年５月 28 日（木）開催

・令和元年度事業及び会計決算について監査実施

（３）正・副会長会

○ 令和３年３月 17 日（水）　［内容］理事会及び評議員会提出議案について　他

（４）評議員選任・解任委員会

○ 令和２年６月 15 日付決議　新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議

・評議員の選任について

（５）専門委員会（企画委員会）

○ 第１回　令和２年５月 22 日（金）付決議　新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議

（協議事項）

（１）令和元年度事業報告（案）について

○　第２回　令和２年８月７日（金）開催
（協議事項）
（１）「地域福祉推進事業助成金の改正」について
（２）令和２年度「歳末たすけあい運動配分事業」について
（３）「災害ボランティアセンター運営マニュアル」について
（報告事項）
（１）「新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式下での地域福祉活動再開に向けたガイドライン」について
（２）協議体の進捗状況について

○　第３回　令和２年 11 月 12 日（木）開催
（協議事項）
（１）「令和２年度　歳末たすけあい運動配分事業」について
（２）「令和２年度　中間事業報告」について

○　第４回　令和３年２月 26 日（金）付決議　新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
（協議事項）
（１）「令和３年度事業計画（案）」について

（６）衛生委員会

○　毎月開催し、職員の健康や快適な職場環境づくりのための審議等

（７）地区社会福祉協議会担当職員業務連絡会議

○　随時開催し、地区社会福祉協議会を育成・指導

（８）自主財源の状況

（　）は対前年度比

①　社協会員の加入状況

❶一　般　会　員	82,480 件	(−1,079 件)	25,727,660 円	(−242,640 円)
❷法　人　会　員	373 件	(　−19 件)	3,940,000 円	(−205,146 円)
❸団　体　会　員	11 件	(　+1 件)	75,000 円	(　+5,000 円)
❹賛　助　会　員	530 件	(　−44 件)	590,000 円	(　−25,000 円)
合　計	83,394 件	(−1,141 件)	30,332,660 円	(−467,786 円)

②　福祉基金
○　基金額　60,065 円（+50,000 円）
○　運用益　0 円

③　ボランティア基金
○　基金額　259,653,252 円（+250,079 円）
○　運用益　0 円

④　寄付金

❶一般寄付	45 件（ −7 件）	2,557,958 円（−357,896 円）
❷福祉基金へ寄付	1 件（±0 件）	50,000 円（ +39,935 円）
❸ボランティア基金へ寄付	5 件（ −1 件）	250,000 円（ +91,386 円）
❹施設・団体への指定寄付	32 件（−13 件）	1,896,194 円（+679,036 円）
合　計	83 件（−21 件）	4,754,152 円（+452,461 円）

⑤　物品寄付

○　受入　　49 件（−40 件）

○　配分先　77 件（−54 件）

（９）社会福祉関係募金に関する説明会の開催

社会福祉関係募金（社協会員会費、共同募金、日赤活動資金）の目的及び使途の説明会を開催した。

○　令和３年３月１日（月）令和３年度社会福祉関係募金の協力のお願いを文書により発送依頼

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、資料を送付。

(10) 共催事業並びに名義後援の状況

（　）は対前年度比

①　共催事業　0 件（ −1 件）

②　名義後援　9 件（−22 件）

《２　人と人がつながり支え合う地域共生社会の推進》

（１）第４次地域福祉活動計画の進行管理

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、中止や事業内容の変更をせざるを得ない事業も多かったが、『第４次地域福祉活動計画』の３年目として各種の地域福祉推進事業に取り組んだ。そこで、単年度ごとに計画の進捗状況を確認し、社会情勢の変化等を踏まえ、翌年度の事業計画に反映していくことを目的として、下記のとおり進行管理委員会を開催した。

○進行管理委員会の開催

期　日：令和３年１月 21 日（木）

会　場：市総合福祉センター

内　容：（１）事業の実施状況について

（２）実施事業の今後の方向性について

出席委員：10 名

（２）『地区社協・支部社協連絡会議』の開催

【第１回】
期　日：令和２年 10 月 16 日（金）
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、午前・午後の２回に分けて開催。
会　場：市総合福祉センター
内　容：（１）「地域福祉推進事業助成金」の改正について
（２）「新型コロナウイルス感染症対策による「新しい生活様式」下の地域福祉活動再開に向けたガイドライン」について
（３）コロナ禍の協議体の活動について
（４）住民参加型在宅福祉サービス事業「たすけあい活動」助っ人会員の募集について

【第２回】（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、連絡資料を送付）
期　日：令和３年３月 11 日（木）
内　容：令和３年度各種事業について

（３）地区社協・支部社協『部会活動推進連絡会議』の開催

①　『募金部会連絡会』
期　日：令和２年９月 17 日（木）
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、午前・午後の２回に分けて開催。
会　場：市総合福祉センター
内　容：（１）社会福祉関係募金の趣旨と使途について
（２）共同募金の募金実績について
（３）令和元年度共同募金による令和２年度配分団体の配分金活用報告について
（４）新型コロナウイルス感染症対策による「募金活動実施にあたっての衛生配慮に係るガイドライン」について
（５）令和２年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金について
参加者：63 人

※『在宅福祉サービス部会研修会』『児童福祉推進部会研修会』『広報研修部会研修会』については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

（４）地区社協・支部社協における住民主体の地域住民支え合い活動の推進・支援及び地域福祉活動費の助成

①　地域福祉活動への助成

		対前年度比
❶　地区社協運営費	22,143,660円	−214,655 円
❷　地域福祉推進費交付額 （平成27年度国勢調査結果に基づく世帯数@35円）	4,829,720円	0 円
❸　ボランティア活動保険助成額(@150円) （1,486人分）	222,900円	+750 円 （+5 人）

②　地域福祉活動費（在宅福祉サービス推進費）の助成

○集いの場の構築

			対前年度比
集いの場の構築に係る活動費交付総額		1,283,362円	−4,796,891 円
内訳	❶　会食会（参加者@300円）	441,300円	−3,071,400 円
	❷　茶話会（参加者@50円）	342,250円	−308,900 円
	❸　会場費補助（開催ヶ所@250円）	134,500円	−178,500 円
	❹　子育てサロン（参加親子組数@300円）	76,200円	−181,200 円
	❺　世代間交流（開催回数@上限15,000円）	289,112円	−1,056,891 円

○訪問による見守り活動

			対前年度比
訪問による見守り活動に係る活動費交付総額		3,699,115円	+467,930 円
内訳	❶　配食サービス（配食先数@240円）	2,277,840円	−161,760 円
	❷　友愛訪問（開催回数@上限20,000円）	1,421,275円	+629,690 円

（５）第２層協議体開催の支援及び協議体の設置に向けた地域の関係機関・団体との懇談会（勉強会）開催の支援

地域における生活課題やその課題を解決するために必要な生活支援について、また、介護予防に資する集いの場の創設を住民同士が話し合う「第２層協議体」の開催支援及び協議体設置に向けた勉強会の開催など、次のとおり取り組んだ。

○令和２年度「第２層協議体」設置地区
７地区（南、小原田、緑ケ丘、喜久田、富久山、大槻、小山田）
38 地区中 25 地区で設置完了。

※新型コロナウイルス感染症の影響により取り組み内容も大幅に変更し、以下の活動を積極的に実施した。

①　新型コロナウイルス感染予防のための予防周知、健康体操に関するチラシの作成配布

②　地域資源の情報収集・取材活動

③　地域福祉応援メッセージムービーの作成

④　コロナ禍でも可能な団地体操事業の実施（小山田地区で実施）

○　その他の地区における第２層協議体設置の進捗状況

現在、すべての地区に対して働きかけを行い、38 地区において、生活支援コーディネーターが地域の関係機関・団体と設置に向けた説明会、勉強会の開催について調整を行っている。

また、生活支援コーディネーターが、各方部民生委員協議会定例会や区長会等に順次出席し、協議体への理解を得るための説明及び設置への協力依頼を行っている。

（６）生活支援コーディネーターの活動の充実

本市における生活支援体制整備事業の取り組みを推進する郡山市第１層生活支援コーディネーター業務を平成 29 年度から受託し職員１名を配置。平成 30 年４月からは郡山市第２層生活支援コーディネーター業務を受託し、現在は計 12 名で活動を進めている。

①　第１層生活支援コーディネーターの活動実績

活　動　区　分	件数
❶関係者との打ち合わせ、事業説明等に関すること	86
❷地区説明会に関すること	26
❸協議体の開催に関すること	13
❹地域のニーズや資源の見える化に関すること	45
❺担い手の育成に関する事	7
❻ニーズとサービスのマッチング	39
❼その他	54
合　　計	270

②　第２層生活支援コーディネーターの活動実績

活　動　区　分	件数
❶関係者との打ち合わせ、事業説明等に関すること	139
❷地区説明会に関すること	47
❸協議体の開催に関すること	21
❹地域のニーズや資源の見える化に関すること	343
❺担い手の育成に関する事	13
❻ニーズとサービスのマッチング	72
❼その他	68
合　　計	703

③　郡山市第１層協議体への参加

❶第１回

期　日:令和２年 10 月 16 日（金）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催で実施。

❷第２回

期　日：令和３年２月 26 日（金）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催で実施。

（７）『住民参加型在宅福祉サービス事業』“たすけあい活動”の推進

平成 30 年４月から、生活支援の必要な方（高齢者、障がい者、妊産婦）を対象に、普段の暮らしの「ちょっとした困りごと（ゴミだし、掃除など)」をボランティアが有償（10 分 100 円）でお手伝いする「住民参加型在宅福祉サービス事業」を開始した。

相談や問い合わせの件数は、令和２年度末で約 430 件。支援に当たる助っ人隊の登録会員数は 79 名で、うち 46 名が活動を行った。(助っ人隊の稼働率 58.2%)

①　利用登録者の世帯別内訳

内訳	人数	割合
❶　一人暮らし高齢者	79	58.95%
❷　高齢夫婦世帯	24	17.91%
❸　障がい者のみ世帯	10	7.46%
❹　妊産婦のいる世帯	1	0.75%
❺　その他の世帯	20	14.93%
合　　計	134	100.00%

②　サービス区分別利用実績

サービス区分	件数	割合
❶ゴミ出し	1,729	86.23%
❷掃除・片付け	150	7.48%
❸庭の草むしり	0	0%
❹買い物	1	0.05%
❺話し相手	104	5.19%
❻調理	7	0.35%
❼洗濯	0	0%
❽外出の付き添い（通院・散歩）	0	0%
❾その他	14	0.70%
合　　計	2,005	100.00%

（８）東日本大震災及び福島第一原発による避難者支援の推進

①　生活支援相談員の配置

避難者生活支援相談室長１名、主任生活支援員２名、生活支援相談員９名を配置し、避難者支援を推進した。

②　県中・県南・会津地区被災者見守り・相談支援連絡会議（調整会議）

県中・県南・会津において、被災者支援業務に従事する避難元・避難先社協等関係機関が一同に会し、情報共有と緊密な連携等を目的に、連絡会議を８月５日、９月 29 日に開催。（福島県社協主催）。

＜参加団体＞

福島県社協、県中・県南・会津地区市町村社協の主任生活支援員及び生活支援相談員、避難元・避難先行政、他関係機関

③　市内におけるサロン等の活動支援

市内９ヶ所にある復興公営住宅集会所で行われているサロン等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にて自粛となり支援活動は出来なかった。

その他、各避難元社協（富岡町・大熊町・双葉町）や関連団体が主催するイベント等も同様に自粛となった。

④　市内の復興公営住宅、借り上げ住宅、再建住宅への訪問活動

市内に避難されている住民（以下「避難住民」）の自立再建を目的に、復興公営住宅や借り上げ住宅、再建住宅への郡山市社協単独戸別訪問、及び避難元社協（大熊町、富岡町）との同行戸別訪問を実施した。

４月中旬までは新型コロナウイルス感染症防止対策をとりながら玄関先にて短時間の見守り訪問(世帯の状況により室内での訪問あり)。

４月 23 日より「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る訪問活動自粛のお知らせ」を訪問に合わせポスティング、合わせて電話での様子伺い、世帯状況に合わせ訪問実施した。

６月より訪問を段階的に再開(感染症予防対策を実施しての訪問)。７月より大熊町社協との同行訪問を再開した。10 月、11 月は富岡町社協と自宅再建世帯への同行訪問を実施した。

不在世帯については再訪問にて、見守りを強化している(孤独死等を防ぐ)。

⑤　避難者向けサロン事業『コミュニティサロン Rococo～ろここ～』の開催

避難住民の交流促進の場づくりと、趣味や生きがいをもち充実した日常生活を送ることを目的として「お出掛け・施設見学・物づくり」等のサロンを開催した。

郡山市のガイドラインに基づき、新型コロナウイルス感染症予防対策(参加人数の見直し等含)を行いながら７月より実施した。

開催日：毎月第１火曜日　13:30～15:30　計６回

会　場：市総合福祉センター及び各見学地

参加者：延べ 106 人

⑥　地域コミュニティ復興支援事業

○　健康づくり事業

避難住民と市民との交流の場と日ごろの運動不足解消、更には健康寿命を延ばすことを目的として開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため「体操教室」は年度内中止となり、健康講話「おなか元気教室」を実施。

開催日：11 月 17 日(火)
会　場：市総合福祉センター　集会室
参加者：20 名

⑦　相談内容と相談経路

復興公営住宅、借上・再建住宅への単独訪問及び避難元社協との同行訪問の実績件数は、下表のとおり。

	対象世帯・人数（R2.4）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
郡山市社協単独訪問	富岡町 372 世帯 746 人	65	228	144	75	208	120	143	204	156	195	207	113	1,858
	大熊町 184 世帯 397 人	15	0	25	5	34	1	39	1	33	2	34	1	190
	双葉町 126 世帯 204 人	18	34	54	60	55	43	44	45	47	59	49	46	554
	浪江町 181 世帯 360 人	33	41	73	103	91	66	99	92	62	107	80	71	918
	川内村 2 世帯 2 人	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	12
	楢葉町 1 世帯 1 人	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	6
	小　計 866 世帯 1,710 人	131	304	298	245	390	232	326	344	300	365	371	232	3,538
同行訪問	双葉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大熊町	0	0	0	82	0	67	0	73	0	69	0	55	346
	浪江町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	富岡町	0	0	0	0	0	0	72	26	0	0	0	0	98
	小　計	0	0	0	82	0	67	72	99	0	69	0	55	444
合　計		131	304	298	327	390	299	398	443	300	434	371	287	3,982

（９）令和元年台風第 19 号豪雨災害被災者支援の推進（『こおりやま災害支援ネットワーク』との連携等）

郡山市台風 19 号生活支援・地域ささえあいセンター事業
高齢者等要配慮者見守り支援

＜目的・内容＞
令和元年台風 19 号豪雨災害による被災を原因として避難した市民が､現に居住する地域において、安定的な日常生活を営むことができるよう支援する。
住宅被災により公営住宅、仮設住宅等に入居している高齢者等要配慮者の世帯を訪問・電話等により見守り支援を行う。相談や情報提供及び関係機関へのつなぎと連携による支援活動を行う。

○ 実施内容
対象世帯　114 世帯
人数　244 人

（世帯数）

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
訪問	在宅	16	6	23	39	23	27	21	18	28	25	20	17	263
	不在	24	3	8	17	12	21	24	25	16	12	24	4	190
電　話		1	2	1	14	2	2	5	9	7	2	5	1	51
来　所		1	0	0	8	1	1	1	0	0	1	1	0	14
他機関連携		2	2	4	2	5	4	2	6	7	4	0	1	39
転　居		0	0	8	6	7	11	2	3	0	1	0	0	38
ｱﾝｹｰﾄ投函		0	0	0	8	0	4	0	0	0	0	0	0	12
合　計		44	13	44	94	50	70	55	61	58	45	50	23	607

《３　地域課題を我が事とし解決できる環境づくり》

（１）福祉なんでも相談事業の充実

各地区で開催されている「いきいきサロン」や「子育てサロン」などの集いの場に、福祉活動専門員及び生活支援コーディネーターが訪問し、運営に参加しながら地域の困りごとや課題の把握及び社会資源の情報提供を行うなど、地域における相談窓口として機能する体制の構築に努めた。

また、地域包括支援センターが主催する地域ケア圏域会議に出席し、専門職との連携強化に努めた。

（２）丸ごと相談窓口の整備

本会が有する相談支援機関（事業所）をワンフロアに集中させ、高齢者、障がい者、児童、生活困窮者等を対象に、福祉サービスの利用支援、日常生活支援、権利擁護に関する支援、生活福祉資金の貸付や就労支援、フードバンク事業による食料品等の提供、更には虐待など幅広い生活課題・福祉課題にワン・ストップで対応できるよう包括的な相談体制を整備し、課題解決に向け個別的な相談支援を行った。

（３）ボランティアセンターの運営及びボランティアコーディネートの充実

ボランティアコーディネート業務の充実を図るため、ボランティア登録内容の更新手続き等を行ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、ボランティアについても活動自粛を余儀なくされ、調整件数や相談件数が大幅に減少した。

①　ボランティア関係相談の受付状況

相談区分	件数	対前年度比
❶　ボランティアをしたい・ボランティアを求む	313	-545
上記に対するボランティアの調整件数	(120)	(-121)
❷　実践者等からの活動上の相談・連絡調整	418	-468
❸　ボランティア・市民活動に関する情報提供	254	-461
❹　ボランティア活動保険等に関する相談	407	-2,042
❺　器材貸出などボランティア学習に関する相談	236	-47
合　　計	1,628	-3,563

②　ボランティア新規登録数

【新規登録】　団体登録　５団体（26 人）、個人登録　30 人

【団体登録総数】90 団体（10,843 人）、個人登録者総数：83 人

（４）出前ボランティアスクールの開催

①　郡山市健康振興財団「健康づくりボランティア育成講座」

期　日：令和２年 11 月 4 日（水）

会　場：郡山市保健所

内　容：講義『ボランティアについて』

参加者：10 人

②　コミュニティソーシャルワーカープレ研修会 in 福島

期　日：令和２年 11 月 14 日（土）

会　場：福島コトひらく

内　容：講義『小地域ネットワーク活動について』オンライン配信

③　あさかの学園大学　専門課程（健康・福祉学科）２年
期　日：令和２年 11 月 25 日、12 月２日
会　場：ビッグアイ
内　容：講義『シニアボランティア養成講座Ⅰ・Ⅱ』
参加者：23 人

④　大和ライフネクスト株式会社
期　日：令和３年１月 15 日（金）
会　場：大和ハウス福島支社ビル
内　容：講義『はじめてみよう！ボランティア活動』
参加者：４人

⑤　住民参加型在宅福祉サービス事業』“たすけあい活動”の助っ人隊養成講座の開催
○出前講座（内容：「住民参加型在宅福祉サービス事業」たすけあい活動について）
❶期　日：令和３年１月 17 日（日）
会　場：富久山総合学習センター
参加者：６人

❷期　日：令和３年１月 21 日（木）
会　場：富田公民館
参加者：９人

❸期　日：令和３年３月５日（金）
会　場：安積公民館安積分室
参加者：16 人

（５）分野別ボランティア講座

災害救援ボランティア養成講座を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。

（６）夏・ボランティア体験プログラムの開催

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参加者及び関係者の健康と安全を最優先に考慮し、「2020 夏・ボランティア体験プログラム」を中止とした。

（７）地域ぐるみ雪かきボランティアコーディネート事業の推進

①雪かきボランティア及び利用者登録状況

個　　人	50人
団　　体	２団体
利用希望者	51人

※26 件の依頼があり、延べ 11 人の雪かきボランティアが活動。

②雪かきボランティア体験プログラムｉｎ湖南町

【１回目】令和３年１月 23 日（土）に実施予定だったが、積雪状況により中止

【２回目】

期　日：令和３年２月 20 日（土）

活動場所：湖南町福良地区、赤津地区、中野地区、石倉地区、三代地区、舘地区

内　容：高齢者の一人暮らし世帯及び高齢者世帯 11 世帯の雪かき活動

参加者：19 人

（８）ボランティア活動保険の加入促進

①　加入者総数　5,149 人（対前年度同期比-3,139 人）

※うち助成対象者 1,486 人

（９）郡山市社会福祉協議会福島県沖地震ボランティアセンターの活動

①福島県沖地震ボランティアセンターについて

❶福島県沖地震ボランティアセンターの設置・運営

令和３年２月 13 日（土）に発生した福島県沖地震に伴い、令和３年２月 15 日から本会事務局に「福島県沖地震ボランティアセンター」を設置・運営。

主な災害ボランティア活動の内容は、倒れた家具の現状復帰や整理、部屋の片付け、避難所からの引っ越し支援などで、延べ 31 名が災害ボランティアを行った。

❷災害ボランティア活動者数：延べ 31 名（登録者 36 名）

❸災害ボランティア活動内容：倒れた家具の現状復帰や整理、部屋の片付け、避難所からの引っ越し支援等のべ 53 件

《４　住民に寄り添い、後押しする相談・支援の強化》

（１）日常生活自立支援事業（あんしんサポート）の推進

福島県社会福祉協議会からの受託事業として実施。認知症や知的・精神障がいなどにより日常生活に不安がある方と利用契約を締結し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービス、重要書類等の預かりサービスなどの支援を行った。

①　相談・問い合わせ件数、契約締結件数　　（ ）は対前年度比

	日常生活自立支援事業の利用に関するもの				合　計
	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	
相談・問合せ件数	1,420(+344)	371(−50)	785(+157)	88(±0)	2,664(+451)
上記のうち新規相談者	42（−14）	14（+4）	19　(−2)	3（−4）	78（−16）
当年度の契約締結件数	24　(+5)	8（+3）	12　(+4)	1（+1）	45（+13）
契約締結件数の累計	200	56	54	13	323
令和３年３月末日現在の契約件数					110

（２）成年後見事業（法人後見）推進体制の整備

高齢化や核家族化の進行に伴い、単身高齢者の増加が見込まれるなか、認知機能の低下などによって、適切な金銭（財産）管理や社会生活上の法律行為を自己対処できない高齢者等に対する地域における権利擁護の推進を強化するため、成年後見制度に関する事業（法人後見事業）を実施し、同制度に関する各種相談業務や制度の周知・広報に努めた。

なお、令和２年度においては、福島家庭裁判所から後見人等の受任を要請されたケースはないが、後見人等の受任後において、後見業務が円滑に実施することが可能となるよう担当職員のスキルアップをめざし、各種の研修会に積極的に参加し、受任体制の強化に努めた。

また、「成年後見制度の利用の促進に関する法律」に定める権利擁護支援の地域連携ネットワーク機関（中核機関）の受託を目指し、先進的に成年後見制度に関する事業に取り組んでいる他地域の状況の視察を行うなど、成年後見制度のさらなる推進に向けて取り組みの強化を行った。

○　令和２年度における相談対応件数：3 件（対前年度比−3 件）
○　先進地視察の実施
　福島市　　実施日：令和２年９月 30 日（職員３名で視察）
　　視察先：福島市社会福祉協議会「福島市権利擁護センター」
　いわき市　実施日：令和２年 10 月 27 日（職員３名で視察）
　　視察先：いわき市役所「いわき市権利擁護・成年後見センター」

（３）郡山市生活困窮者自立支援事業の推進（郡山市受託事業）

郡山市が設置する「自立支援相談窓口」業務の一部を受託し、相談支援員として職員２名を配置し、『暮らし』や『仕事』などの経済的な困り事を抱える生活困窮世帯等からの相談・支援に応じた。なお、令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による生活福祉資金（特例貸付）の実施に伴い、相談対応件数が大幅に増加した。

○　相談受付延べ件数：2,035 件（対前年度比+1,134 件）
（うち新規相談件数：1,402 件　継続相談件数：633 件）

（４）郡山市生活困窮者就労準備支援事業の充実（郡山市受託事業）

令和元年６月から生活困窮者自立支援法に基づく郡山市生活困窮者就労準備支援事業を郡山市より受託して実施。様々な事情から「就労」につながりにくい生活困窮者等に対して、ボランティア活動への参加、就労意欲の喚起、就労体験の実施などの多様な支援を通じて就労に向けた準備を整え、就労の定着に向けた個別の支援プログラムを作成し、支援メニューの提供を行った。

○　利用者等との面談・相談・支援延べ件数：251 件（対前年度同期比+79 件）
○　支援プログラム作成延べ件数：48 件（対前年度比＋7 件）

（５）「こおりやまフードバンク事業」の推進

郡山市の「自立支援相談窓口」と連携し、経済的な自立に向けた支援の一環として「こおりやまフードバンク事業」を実施。緊急的な支援を必要とする相談者に対し、食料品等を提供した。

○　提供件数：106 件（対前年度比+35 件）

（６）住宅確保要配慮者に対する相談支援の充実

高齢者、障がい者、生活困窮者など、住まいの確保に課題を抱える人（以下、「住宅確保要配慮者」）が増加していることを踏まえ、郡山市「生活困窮者自立支援窓口」などの関係機関や不動産事業所等と連携し、「住居確保要配慮者」に対する相談支援体制の強化に向けた取り組みを推進した。

なお、今後は先進的に「住居確保要配慮者」に対する居住支援を行っている団体等への視察を行うなど、具体的な支援メニューを開発し、住宅セーフティネット法に定める郡山市における「居住支援協議会」の設立に向けて、関係機関・団体との連携強化を推進するための調査・研究を行う。

さらには、郡山市内の社会福祉法人との連携による「社会福祉法人の地域における公益的な取組」として実践できるよう研究・討議の場を設置していく。

（７）生活福祉資金等貸付事業の推進

福島県社会福祉協議会からの受託事業として実施。他の貸付制度が利用できない低所得世帯や高齢者世帯、障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を図るため、無利子または低利子で資金の貸付を行った。

生活福祉資金貸付事業の推進状況一覧　　（ ）は対前年度比

№.	資金種類	申込取次件数	貸付決定金額
❶	総合支援資金		
	生活支援費（新規申込）	9件　(+8)	1,944,000円（ +1,554,000）
	生活支援費（変更申込）	7件　(+7)	1,505,000円（ +1,505,000）
	住宅入居費	0件（±0）	0円（　　±0）
	一時生活再建費	0件（±0）	0円（　　±0）
❷	福祉資金		
	福祉費	3件　(+2)	898,000円（　+778,000）
	緊急小口資金	24件　(+5)	1,848,000円（　+68,000）
❸	教育支援資金	7件　(−2)	10,346,000円（ +6,713,000）
❹	不動産担保型生活資金	0件　(−1)	0円（−12,012,000）
❺	臨時特例つなぎ資金	1件　(+1)	35,000円（　+35,000）
❻	生活復興支援資金	0件（±0）	0円（　　±0）
合　計		51件（+20）	16,576,000円（ −1,359,000）

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う生活福祉資金（特例貸付）の実施状況については別に掲載

（８）たすけあい一時資金の貸付事業の実施

一時的に生活資金が必要な場合で、他からの借入が困難な低所得世帯に対して「たすけあい一時資金」の貸付を行った。

たすけあい一時資金の貸付状況一覧　　（ ）は対前年度比

貸付総数	貸付総額	一般貸付		福祉事務所経由	
		件数	貸付金額	件数	貸付金額
81件 (+19)	2,408,000円 (+955,000)	3件 (±0)	81,000円 (−69,000)	78件 (+19)	2,327,000円 (+1,024,000)

《５　地域の団体の協力関係とネットワークの構築》

（１）歳末たすけあい運動募金配分事業

❶各地区社協・支部社協をはじめ、市内のボランティア団体、ＮＰＯ活動団体等 255 の団体に対し配分事業についての周知と募集を行い、申請のあった延べ 48 団体に対して配分を行った。

（　）は対前年度比

○配分金総額	3,390,300 円	(-133,700 円)
・ご近所除雪事業	13,000 円	(－10,000 円)
・クリスマス会事業	1,485,300 円	(96,300 円)
・年末年始見回り事業	572,000 円	(-112,000 円)
・おせち配食事業	747,000 円	(3,000 円)
・子ども食堂事業	21,000 円	(+5,000 円)
・新年会事業	552,000 円	(-116,000 円)

❷新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少があった世帯に対して、ミニおせちセットの無料配布事業を実施。

○実施時期：令和２年 12 月 26 日（土）27 日（日）
○実施内容：ミニおせちセット 600 個を無料配布
※併せて、郡山市内の企業や団体から提供を受けた食料品等も配布。
○協力団体：郡山市地域ボランティア連絡協議会
郡山ボランティアアドバイザーの会

（２）社会福祉法人の地域における公益的な取り組みの推進

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止とした。

《６　誰にでもわかりやすい情報の発信と福祉啓発》

（１）「こおりやま社協だより」「こおりやま社協ニュース」の発行

こおりやま社協だより及びこおりやま社協ニュースを発行し、市民への福祉に関する幅広い情報の提供に努めた。令和２年度は、社協だより１回発行、社協ニュース４回発行

① 社協だより
発行日：令和２年７月１日（第 134 号）

② 社協ニュース
発行日：令和２年４月（№.４）
令和２年９月（№.５）
令和２年 11 月（№.６）
令和３年２月（№.７）

（２）ファミリーフェスタ 2020 の開催

令和２年６月 22 日付「保健・福祉フェスティバル郡山 2020」実行委員会を書面審議により、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止を決定。

（３）郡山市社会福祉大会の開催

『第 17 回郡山市社会福祉大会』（代表受賞者による式典のみ）

期　日：令和２年 11 月 11 日（水）
会　場：郡山市役所　正庁
内　容：社会福祉に対する理解と地域福祉の一層の推進を図ることをめざし開催
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大会の規模を縮小し、表彰式のみ執り行った。

表彰・感謝状贈呈：	郡山市長表彰	52名・26団体
	郡山市長感謝状	35名・10団体
	大会会長表彰	153名・15団体
	大会会長感謝状	3名・ 8団体

参加者：代表受賞者 13 名、来賓 1 名、主催者 6 名　計 20 名

（４）ホームページ・SNS による情報発信

ホームページ及びフェイスブックによる情報提供を行った。
令和２年 10 月１日より、ホームページをリニューアルした。
さらに、地域福祉活動の情報発信を行い、地域住民の福祉理解の促進を図るため、ユーチューブチャンネル「社会福祉法人郡山市社会福祉協議会チャンネル」を開設。

ホームページ閲覧者数：18,432 人（令和２年 10 月１日～令和３年３月 31 日）

（５）郡山市認知症高齢者 SOS 見守りネットワーク事業への協力
（ＩＣＴ（情報通信技術）活用によるメール配信捜索事業）

徘徊し行方不明となった認知症高齢者を早期に発見するため、ICT（情報通信技術）の活用によるメール配信捜索事業を実施した。

○　登録支援者数：242 名
○　メール配信件数：12 件

《７　各種福祉事業の推進》

（１）『福祉バス運行事業』の実施

①　利用団体別内訳

利用団体	件数	割合
❶地区・支部社協	15	31.9%
❷高齢者・ひとり親、障がい児者の福祉団体	10	21.3%
❸ボランティア団体（ボランティアセンター登録団体）	3	6.4%
❹民児協連合会及び方部民協	4	8.5%
❺社会福祉関係団体	15	31.9%
合計	47	100.0%

②　利用目的別内訳

利用目的	件数	割合
❶視察研修	5	10.6%
❷交流会	14	29.8%
❸いきいきサロン	6	12.8%
❹買い物移動支援	8	17.0%
❺学童イベント	0	0%
❻その他（※）	14	29.8%
合計	47	100.0%

※　その他の内訳は世代間交流、施設見学等

③　乗車実人数：554 人

（２）『高齢者の買い物を目的とした移動等を支援するための事業』の実施

○実績　　実施回数　8 回(対前年度比　-10 回)
　　参加人数　67 名(対前年度比　-228 人)

※33 回実施予定だったが､新型コロナウイルス感染症拡大防止のため､25 回は中止。

地区社協名	実施日	店舗名	参加人数
安　積	12 月 1 日(火)	ダイユーエイト安積店、ヨークベニマル荒井店	6
	1 月 12 日(火)	カワチ薬局安積店、ヨークベニマル荒井店	7
	3 月 2 日(火)	ケーヨーD2、ヨークベニマル荒井店	8
湖　南	12 月 24 日(木)	ヨークベニマル猪苗代店、ツルハ猪苗代店	12
	2 月 25 日(木)	ヨークベニマル猪苗代店、カワチ猪苗代店	8
	3 月 4 日(木)	はたけんぼ、ダイユーエイト須賀川西店 ショッピングパークアスク	10
熱　海	12 月 23 日(水)	ヨークベニマル本宮店、ダイユーエイト本宮店	8
	3 月 17 日(水)	あだたらの里直売所、プラント５	8
		合計	67

（３）『火災等被災者への見舞金支給事業』の実施

（　）は、対前年度比

①　見舞金交付：全焼・全壊　8件 210,000円（ −1件・ −60,000円）
半焼・半壊 19件 290,000円（+18件・+260,000円）
床上浸水　　0件　　0円（ −1件・　−5,000円）
弔慰金　　2件　20,000円（ −2件・ −20,000円）
（うち、全壊２件・半壊 15 件は建物爆発事故による爆風で支給）

（４）郡山市民生児童委員協議会連合会への支援

①　郡山市民生児童委員協議会連合会への支援
○　運営費補助金の交付 200,000 円（対前年度同額）

②　令和２年度総会（新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から書面審議）
期　日：令和２年６月 11 日（木）付審議

（５）郡山市高齢者作品展の開催

①　実行委員会総会（書面審議）
期　日：令和２年８月７日（金）
内　容：(1)令和２年度実行委員会会則（案）について
(2)令和２年度作品展開催要項（案）について
(3)令和２年度収支予算（案）について

②　審査会
期　日：令和２年 12 月９日（水）
会　場：けんしん郡山文化センター

③　一般公開
期　日：令和２年 12 月 11 日（金）～13 日（日）
会　場：けんしん郡山文化センター
特賞受賞作品数：20 点
出品者数：990 人
来場者数：延べ 450 人

《８　新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応について》

（１）新型コロナウイルス感染対策による「新しい生活様式」下の地域福祉活動再開に向けたガイドラインの作成

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人と人とが互いに距離をとり、接触の機会を減らした「新しい生活様式」の実践が求められ、「新しい生活様式」下での地域福祉活動の一助として、ガイドライン（第２版）を作成。今後、随時、更新予定。

（２）友愛訪問活動の推進

①　手作りマスクの配布

❶　女子高生による会津木綿を使用した手作りマスク（200 枚）の配布

郡山高校周辺の小山田地域の80歳以上の一人暮らし高齢者へ小山田方部の民生委員を通じて配布した。

❷　日本たばこ産業株式会社郡山支店様からの手作りマスク（120 枚）の配布

郡山地区社協芳賀支部を通じて、郡山支店のある芳賀地域にお住まいの高齢者へ配布した。

②　「長命草うどん」（1,000 箱）の配布

個人の方から寄付された「長命草うどん」を各地区社協・支部社協の友愛訪問活動として高齢者世帯等に配布した。

（３）福祉委員に対する消毒液の配付

地区社協・支部社協で実施する友愛訪問や配食サービスなどの地域福祉活動の際に、福祉委員に対し消毒液を配付し、感染予防に努めた。

（４）飛沫防止パネル・体温計・消毒液の貸出

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各地区社協・支部社協で、感染予防策を講じたうえで活動していくため、飛沫防止パネル等の貸出を行った。

（５）地域福祉応援メッセージムービーの作成

新型コロナウイルス感染症の拡大により「新しい生活様式」が求められるなか、新しい地域福祉活動への取り組みを目指し、人と人との繋がりを再認識していただくため、「地域福祉応援メッセージムービー」を作成。

〇公開期間　令和２年８月 31 日（月）～令和２年 12 月 31 日（木）

〇公開場所　YouTube「【公式】社会福祉法人郡山市社会福祉協議会チャンネル」内

（６）生活福祉資金（特例貸付）の実施

福島県社会福祉協議会からの受託事業として実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により収入が減少した世帯に対して当面の生活費として貸付を行った。

実施期間は令和２年３月 25 日～令和３年６月末日までの予定。

①　緊急小口資金（特例貸付）件数及び金額

月	申請受付件数	決定件数	決定金額
３月	27　件	0　件	0　円
４月	289　件	245　件	36,650,000　円
５月	371　件	377　件	63,810,000　円
６月	322　件	321　件	58,750,000　円
７月	234　件	206　件	37,850,000　円
８月	163　件	174　件	32,250,000　円
９月	172　件	183　件	33,470,000　円
１０月	107　件	110　件	20,850,000　円
１１月	78　件	69　件	12,950,000　円
１２月	125　件	125　件	23,630,000　円
１月	89　件	74　件	13,600,000　円
２月	171　件	163　件	30,650,000　円
３月	237　件	239　件	46,650,000　円
計	2,385　件	2,286　件	411,110,000　円

【申込要件】

対象世帯：新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、収入の減少があり、緊急かつ一時的に生計維持のために貸付金を必要とする世帯

貸付上限額：１世帯　20 万円以内（無利子）

据置期間：１年間　　償還期限：２年以内　※貸付決定まで 10 日～２週間程度

②　総合支援資金（特例貸付）件数及び金額

月	申請受付件数	決定件数	決定金額
３月	0　件	0　件	0　円
４月	2　件	0　件	0　円
５月	32　件	28　件	22,471,000　円
６月	114　件	100　件	84,988,000　円
７月	138　件	116　件	85,360,000　円
８月	132　件	149　件	115,590,000　円
９月	153　件	151　件	120,200,000　円
１０月	81　件	97　件	76,420,000　円
１１月	78　件	71　件	60,390,000　円
１２月	88　件	84　件	61,850,000　円
１月	62　件	67　件	43,600,000　円

２月	75　件	65　件	32,550,000　円
３月	234　件	217　件	114,310,000　円
計	1,189　件	1,145　件	817,729,000　円

【申込要件】
対象世帯:新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯
貸付上限額：月額 15 万円以内（単身世帯）月額 20 万円以内（複数世帯）　無利子
貸付期間：３ヵ月間（必要があれば、追加で最大３ヵ月間の延長可能）
据置期間：１年間　　償還期限：10 年以内　※貸付決定まで２週間～３週間程度

③　総合支援資金（特例貸付）再貸付　件数及び金額　令和３年２月 19 日～実施

月	申請受付件数	決定件数	決定金額
２月	141　件	0　件	0　円
３月	131　件	262　件	134,550,000　円
計	272　件	262　件	134,550,000　円

【申込要件】
対象世帯：上記①および②の貸付を受けてもなお、収入の減少が継続しているため、日常生活の維持が困難になっている世帯
貸付上限額：月額 15 万円以内（単身世帯）月額 20 万円以内（複数世帯）　無利子
貸付期間：３ヵ月間
据置期間：１年間　　償還期限：10 年以内　※貸付決定まで２週間～３週間程度

（７）こおりやまフードバンク事業（緊急食糧支援）の実施

①　一人親世帯への緊急食糧支援
（株）ヨークベニマル様および「フードバンク郡山そっとね」様からの食料品提供を受け、生活福祉資金（特例貸付）の申込世帯のうち、扶養が必要な子がいる一人親世帯に対し、緊急的に食料品を提供した。

○提供した世帯数：50 世帯
○提供した食料品：米（５ｋｇ）、カップラーメン（５個）、甘酒ドリンク（７本）

②　学生に対する緊急食糧支援
福島県社会福祉協議会からの提唱に応じ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でアルバイト収入等が激減した学生や留学生（大学・短大・高等専門学校・専門学校）に対して、緊急的に食料品を提供した。

○提供した件数：65 件

（８）フードドライブ事業の実施

上記の緊急食糧支援に対応するため、広く一般市民に食料品等の提供を呼びかける「フードドライブ事業」を新たに開始した。この取り組みにより、当事業開始前に比べて食料品の在庫量が増加し、より多くの学生・留学生等に対して安定的に食料品を提供することが可能となった。

○食料品の提供を受けた件数：15 件

《９　在宅福祉サービス及び介護予防・生活支援事業の推進》

（１）ホームヘルプサービスセンター事業

①介護保険事業

❶（介護予防）訪問介護

○利用者の状況（要介護度別）　（単位：人）

介護度／年度	事業対象者	要支援		要介護					合計
		1	2	1	2	3	4	5	
令和元年度	20	890	1,055	893	507	117	55	115	3,652
令和２年度	18	853	951	928	403	128	75	86	3,442
対前年度比	−2	−37	−104	+35	−104	+11	+20	−29	−210

○収入の状況（国保連請求額）　（単位：円）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
金　額	82,087,093	87,296,521	−5,209,428

❷（介護予防）訪問入浴介護

○利用者の状況（要介護度別）　（単位：人）

介護度／年度	要支援		要介護					合計
	1	2	1	2	3	4	5	
令和元年度	0	0	9	0	12	29	70	120
令和２年度	0	0	11	0	8	12	51	82
対前年度比	±0	±0	+2	±0	−4	−17	−19	−38

○収入の状況（国保連請求額）　（単位：円）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
金　額	5,610,786	6,932,109	−1,321,323

②障がい者福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・移動支援）

○利用者の状況　（単位：人）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
人　数	731	862	−131

○収入の状況（国保連請求額）　（単位：円）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
金　額	18,618,874	27,760,061	−9,141,187

③郡山市受託事業

❶産後ヘルパー派遣事業

○利用者の状況　（単位：人）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
人　数	71	46	+25

※令和２年９月から生後１歳の誕生日まで利用できるようになった。

○収入の状況（郡山市）　（単位：円）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
金　額	565,920	552,790	+13,130

❷障害者在宅訪問入浴サービス事業

○利用者の状況　（単位：人）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
人　数	53	57	−4

○収入の状況（郡山市）　（単位：円）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
金　額	4,056,800	4,098,570	−41,770

❸いきいきデイクラブ事業

「新型コロナウイルス」感染拡大防止のため、６月 22 日まで活動を中止した。

その間、利用者への安否確認を電話や訪問により行った。利用者の体力が低下しないよう室内でできる体操のチラシや脳トレのプリントを配りながら高齢者のＡＤＬ低下予防に務めた。

また、新型コロナウイルスの感染防止のため、職員がマスクを作り利用者に配った。

○利用者の状況

［受託地域／三穂田、喜久田、日和田、湖南、熱海、田村、中田、西田］

（単位：人）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
人　数	1,888	4,589	−2,701

※三密を防ぐため、１回あたりの参加者の人数を制限し班の数を増やして開催した。

④養成・研修事業（外部研修等への職員の派遣）

研修名	期日	開催地	人数
訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅰ	9 月 7 日	郡山市	1
訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅱ ～介護の専門性とは何か～	11 月 5 日	郡山市	1
訪問介護適正実施研修Ⅰ	11 月 11 日・12 日	郡山市	1
医療と介護の連携に関する研修	11 月 27 日	Zoom 参加	2
訪問介護適正実施研修Ⅱ「サービス提供責任者としての在り方、やり方など」	12 月 24 日・25 日	郡山市	1
家で褥瘡（床ずれ）ができてしまったら	2 月 4 日	Zoom 参加	1
感染症対策（新型コロナウイルス）のための実地での研修	2 月 8 日	郡山市	16
障がい者虐待防止研修会	2 月 26 日	Zoom 参加	1
		延べ人数	24

⑤実習生受入状況

学校・団体数	受入人数	受入日数
0 か所	0 人	延べ 0 日

※新型コロナウイルス感染症予防のため受け入れ自粛。

（２）指定居宅介護支援事業

①ケアプラン作成件数等

○利用者の状況　（単位：人）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
人　数	1,722	1,844	-122

○収入の状況（国保連請求額）　（単位：円）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
金　額	27,202,900	28,703,102	-1,500,202

②要介護認定調査事業等

○利用者の状況　（単位：人）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
人　数	302	437	-135

○収入の状況（郡山市等）　（単位：円）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
金　額	1,215,977	1,756,474	-540,497

③養成・研修事業（外部研修等への職員の派遣）

研修名	期日	開催地	人数
居宅協と包括協の主任介護支援専門員研修会（事例検討）	9 月 24 日	郡山市	1
コロナ禍だからこそＡＣＲの話し合いを	9 月 24 日	郡山市	1
さぁ困った！居宅介護支援事業所が機能停止した場合	11 月 6 日	Zoom 参加	5
医療と福祉の連携に関する研修会	11 月 27 日	Zoom 参加	2
コロナ禍における自殺対策～いま、私たちにできること～	12 月 15 日	郡山市	2
ハラスメント対応（アンガーマネジメントの手法を用いて）	1 月 13 日	郡山市	1
クレームはサービス向上のチャンス	1 月 27 日	郡山市	1
令和２年度　認定調査員研修会	2 月～	動画研修	6
若年層の自殺対策に関する講演会	2 月 17 日	郡山市	2
ストレスマネジメントに活かすマインドフルネス	3 月 9 日	郡山市	2
		延べ人数	23

④実習生受入状況

学校・団体数	受入人数	受入日数
0 か所	0 人	延べ 0 日

※新型コロナウイルス感染症予防のため受け入れ自粛。

（３）指定特定・障害児相談支援事業及び障がい者相談事業

①計画相談

○利用者の状況　（単位：人）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
人　数	323	297	+26

○収入の状況（国保連請求額）　（単位：円）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
金　額	4,229,190	3,820,130	+409,060

②障害児相談

○利用者の状況　（単位：人）

年　度	令和２年度	令和減年度	対前年度比
人　数	273	293	−20

○収入の状況（郡山市等）　（単位：円）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
金　額	4,051,460	4,346,410	-294,950

③委託相談

○利用者の状況　（単位：人）

年　度	令和２年度	令和元年度	対前年度比
人　数	379	729	-350

④養成・研修事業（外部研修等への職員派遣）

研修名	期日	開催地	人数
令和２年度第１回初任者１年目研修会	6 月 26 日	郡山市	2
「障害と介護の連携について」の検討会（第１回）	8 月 3 日	郡山市	1
令和２年度第２回初任者１年目研修会	8 月 27 日	郡山市	2
「障害と介護の連携について」の検討会（第２回）	8 月 31 日	郡山市	1
福島県障害支援区分認定調査員研修	11 月 24 日	Zoom 研修	1
障がい者地域生活支援拠点事業説明会	12 月 1 日	郡山市	1
精神障がい者地域移行、地域定着圏域ネットワーク強化研修	12 月 7 日	郡山市	1
令和２年度第４回初任者１年目研修会	12 月 25 日	郡山市	1
令和２年度第３回初任者２年目研修会	1 月 22 日	郡山市	1
令和２年度第５回初任者１年目研修会	3 月 1 日	郡山市	1
		延べ人数	12

（４）障がい者基幹相談支援センター事業

①　業務実績件数

業　務　分　類	項　　目	実施件数
人　財　共　成	①各種研修会（準備）	108
	②事例検討会	10
	③新人相談員のフォローアップ（個別）	6
	④新人相談員の研修会	7
	⑤その他の研修	45
相談体制強化	⑥委託相談連絡会への参加	30
	⑦各種会議への参加	72
	⑧各種研修会への参加	45
	⑨各種研修会の企画	64
	⑩各種研修会の講師	72
	⑪新規相談支援事業所の立ち上げ支援	12
	⑫新規相談支援事業所のフォローアップ	5

	⑬医療との連携	67
	⑭司法との連携	11
	⑮教育分野との連携	22
	⑯子ども分野との連携	11
	⑰就労分野との連携	33
	⑱行政との連携	229
	⑲住宅関係機関との連携	1
	⑳介護分野との連携	73
	㉑相談支援事業所との連携	444
	㉒障害福祉サービス事業所との連携	185
	㉓当事者の会との連携	0
	㉔家族会との連携	6
	㉕協議会との連携	167
	㉖その他	68
専　門　相　談	㉗相談支援業務における指導・助言	497
	㉘現地訪問への同行及びアドバイス	139
	㉙ケース会議等への出席	155
	㉚情報収集・提供	233
	㉛直接相談業務	434
	㉜その他	36
権　利　擁　護	㉝虐待防止センター業務	182
	㉞成年後見制度利用支援	9
	㉟その他	28
地　域　移　行	㊱地域移行支援推進のための働きかけ	7
	㊲地域の受け皿の整備のための働きかけ	51
	㊳地域資源の情報収集・発信	59
自立支援協議会	㊴各種会議・専門部会等への参加	110
	㊵事務局業務等	352
	㊶その他	16
合　　計		4,101

②　定例会議への参画

○　市　内

委託相談支援事業所連絡会
郡山市・基幹センター合同会議
郡山市自立支援協議会全体会
郡山市自立支援協議会運営会議
郡山市自立支援協議会事務局会議
郡山市自立支援協議会こども支援部会
郡山市自立支援協議会自立生活支援部会

郡山市自立支援協議会就労支援部会
郡山市介護・福祉施設等感染症対策専門委員会
郡山市新型コロナウイルスワクチン接種専門委員会
「障がいと介護の連携について」の検討会

○　県　中
県中地域障害者就業・生活支援センター運営連絡調整会
県中圏域心の地域包括ケアシステム構築にかかるワーキンググループ
県中圏域人材育成ワーキング会議

○　県
福島県基幹相談支援センター連携会議
福島県自立支援協議会
福島県自立支援協議会運営会議
福島県自立支援協議会人材育成部会
福島県自立支援協議会就労支援部会
福島県自立支援協議会地域生活支援部会
相談支援体制の在り方検討会
福島県高次脳機能障がい支援会議
福島県精神障がい者地域移行・地域定着促進検討会

③　養成・研修事業（企画・主催）

研修名	日程	場所
事例検討会 （年３回は、介護・障がいネットワーク研修）	1 回/月（4 月、5 月は中止） （10 月、11 月、12 月）	市総合福祉センター
一年目相談員研修会	6 月 26 日、8 月 27 日、10 月 20 日、12 月 25 日、3 月 1 日（4 月は中止）	市総合福祉センター
二年目相談員研修会	7 月 31 日、12 月 2 日、1 月 22 日、（5 月は中止）	市総合福祉センター

④　養成・研修等事業（研修等への職員の派遣

研修名	日程	場所	人数
令和２年度福島県障がい者相談支援（障がい者ケアマネジメント）従事者養成研修共通講義	7 月 16 日～17 日 7 月 28 日～29 日 7 月 30 日～31 日	福島県文化センター	1 人 1 人 1 人
令和２年度福島県障がい者相談支援（障がい者ケアマネジメント）従事者養成研修ファシリテーター研修	8 月 4 日	市総合福祉センター	2 人
令和２年度福島県障がい者相談支援（障がい者ケアマネジメント）従事者養成研修演習	8 月 20 日～21 日 9 月 2 日～3 日 9 月 29 日	市総合福祉センター	2 人 1 人 1 人

令和２年度福島県サービス管理責任者更新研修	9 月 8 日～9 日	太陽の国	1 人
令和２年度相談支援従事者フォローアップ研修	9 月 25 日	市総合福祉センター	2 人
社協内ヘルパー研修会	8 月 17 日 8 月 18 日	市総合福祉センター	1 人 1 人
	9 月 18 日	湖南	1 人
令和２年度福島県障がい者相談支援（障がい者ケアマネジメント）従事者専門コース別研修	11 月 24 日	市総合福祉センター	1 人
令和２年度福島県障がい者相談支援（障がい者ケアマネジメント）従事者現任者研修ファシリテーター研修	12 月 16 日	市総合福祉センター	1 人
令和２年度福島県障がい者相談支援（障がい者ケアマネジメント）従事者現任者研修	1 月 13 日～14 日 1 月 26 日～27 日	市総合福祉センター	1 人
		延べ人数	18 人

⑤　外部研修等への職員の派遣（講師）

研修名	期日	会場	人数
石川地方事例検討会	7 月 13 日	石川町合同庁舎	1 人
	9 月 16 日	石川町エンジェル園	1 人
	10 月 15 日	石川町エンジェル園	1 人
グループスーパービジョン研修	8 月 6 日	会津若松市カムカム	1 人
人材育成及び支援力向上研修	8 月 28 日	多機能型事業所からふる	1 人
田村圏域障がい福祉支援者研修	10 月 16 日	田村市役所	1 人
国及び地方公共団体向け障害者職業生活相談員資格認定講習	11 月 6 日	福島市市民会館	1 人
	1 月 28 日	福島合同庁舎	1 人
あぶくま支援学校高等部学年懇談会	12 月 1 日	あぶくま支援学校	1 人
就労支援フォーラムぱぁとなあ 2020	11 月 19 日	湯沢グランドホテル	1 人
郡山市精神障がい者家族教室	12 月 8 日	市総合福祉センター	1 人
西郷村巡回支援専門員整備事業研修会	12 月 21 日	西郷村文化センター	1 人
令和２年度福島県障がい者相談支援（障が	1 月 13 日	市総合福祉セ	2 人

い者ケアマネジメント）従事者現任者研修		ンター	
石川地方障がい者基幹相談支援センター研修会	2月5日	MOTO GACCO	1人
あいえるの会理解促進研修	2月9日 2月16日 3月2日	たいむＩＬ	3人
		延べ人数	18人

⑥　研修への参加

研修名	期日	会場	人数
第６期障がい福祉計画・第２期障害児福祉計画の策定に関する研修会	8月5日	ミューカルがくと館	1人
就労支援フォーラムＮＩＰＰＯＮオンライン研修	8月24日～26日	Zoom研修	1人
介護・福祉施設向け感染症対策研修会	12月3日	Zoom研修	1人
精神障がい者地域移行・地域定着圏域ネットワーク強化研修	12月7日	市総合福祉センター	2人
福島県若年性認知症自立支援ネットワーク研修会	12月9日	星総合病院	2人
就労支援フォーラムＮＩＰＰＯＮオンライン研修	12月13日	Zoom研修	1人
自殺予防事業自殺予防講演会	12月15日	ミューカルがくと館	2人
日本障害者虐待防止学会	12月26日	Zoom研修	2人
若年層の自殺対策に関する講演会	2月17日	市中央公民館	1人
あさかホスピタルグループ特別講演会「こどものすこやかな発達のために」	3月4日	Zoom研修	1人
		延べ人数	14人

⑦　外部への職員の委嘱

・小野町障害認定審査会委員
・平田村障害者施策推進協議会
・田村市障害者地域総合支援協議会委員
・郡山市セーフコミュニティ推進協議会自殺予防対策委員
・福島県被災地における障がい福祉サービス基盤整備事業スーパーバイザー
・県中圏域心の地域包括ケアシステム構築にかかるワーキンググループ構成員
・郡山市介護・福祉施設等感染症対策専門委員会委員
・郡山市新型コロナウイルスワクチン接種専門委員会委員

※新型コロナウイルスのため、各種研修会や会議が中止もしくは延期、書面開催となった。

（５）郡山市障害者虐待防止センター事業

①虐待案件件数

〇新規　15 人、継続　8 人

〇虐待認定　7 人（継続含む)、虐待疑い　16 人

❶相談・通報・届出件数（重複あり）（単位 ： 人）

本人	23
家族・親族	8
相談支援専門員・障害者福祉施設従事者	17
病院	5
司法関係	1
行政関係	5
関係機関	2
合計	61

❷虐待の種類　（単位 ： 人）

身体的虐待	9
性的虐待	1
心理的虐待	10
放棄･放置（ネグレクト）	0
経済的虐待	8
合計	28

❸支援方法　（単位 ： 人）

会議	28
聞き取り・面談・訪問	37
同行支援	22
合計	87

②虐待防止センター研修

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、２回に分け、会場集合型での開催予定であったが、ハイブリッド型に変更し、１回で実施。

日　時：令和３年２月 26 日（金）　午後１時 30 分～３時 30 分
内　容：「障がい福祉分野の虐待の現状と気づき」について
講　師：郡山市障がい者基幹相談支援センター職員
参加者：会場参加人数　16 人、Ｗｅｂ参加件数　42 件

《１０　保育事業の推進》

①　児童利用状況

❶　赤木保育所【定員 80 人】　（単位：人）

年度／年齢	令和２年度	令和元年度	対前年度比
0歳児	129	133	−4
3歳未満児	373	344	+29
3歳児	204	152	+52
4歳以上児	270	345	−75
合　計	976	974	+2

❷　希望ヶ丘保育所【定員：4 月～5 月 150 人、6 月～140 人】（単位：人）

年度／年齢	令和２年度	平成元年度	対前年度比
0歳児	151	181	−30
3歳未満児	491	603	−112
3歳児	339	370	−31
4歳以上児	674	636	+38
合　計	1,655	1,790	−135

②　外部研修等への職員の派遣状況一覧

研修名	期日	開催地	人数	
			赤木	希望ヶ丘
令和２年度新規採用保育士合同研修会	8月21日・22日	郡山市	1人	
令和２年度幼保小連携推進事業第２回西方部授業と保育の相互参観	10月7日	郡山市	1人	
甲種防火管理者新規講習会	10月21日・22日	郡山市	1人	
令和２年度幼保小連携推進事業第２回東方部授業と保育の相互参観	10月30日	郡山市	3人	
令和２年度郡山市立希望ヶ丘学園療指導研修会	12月5日	郡山市		1人
令和２年度幼保小連携推進事業第３回東方部授業と保育の相互参観	1月20日	郡山市	2人	
令和２年度郡山市立希望ヶ丘学園療指導研修会	1月26日	郡山市		1人
感染症対策のための実地での研修	2月8日	郡山市	1人	1人
		延べ人数	9人	3人

③　実習生の受け入れ

保育所名	学校・団体数	受入人数	受入延べ期間
❶　赤 木 保 育 所	6か所	7人	76日
❷　希望ヶ丘保育所	3か所	20人	64日

《１１　関連事業》

（１）共同募金運動・歳末たすけあい運動への協力

①　郡山市共同募金委員会第１回運営委員会
［新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面審議］
期　日：令和２年６月 16 日（火）付審議

②　郡山市共同募金委員会第２回運営委員会
［新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面審議］
期　日：令和２年 11 月 25 日（火）付審議

（２）日本赤十字社事業への協力

①　日本赤十字社社員増強運動月間
期　間：令和２年６月１日～30 日
［新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から増強運動月間を延期］

（３）福島県福祉人材センター協力指定事業の受託

①　福祉の仕事相談会
期　日：毎月１回
会　場：市総合福祉センター
相談件数：26 件（前年度同期比-10 件）

②　福祉人材センター協力指定事業担当者会議
期　日：令和２年６月 26 日（金）
会　場：福島県総合社会福祉センター